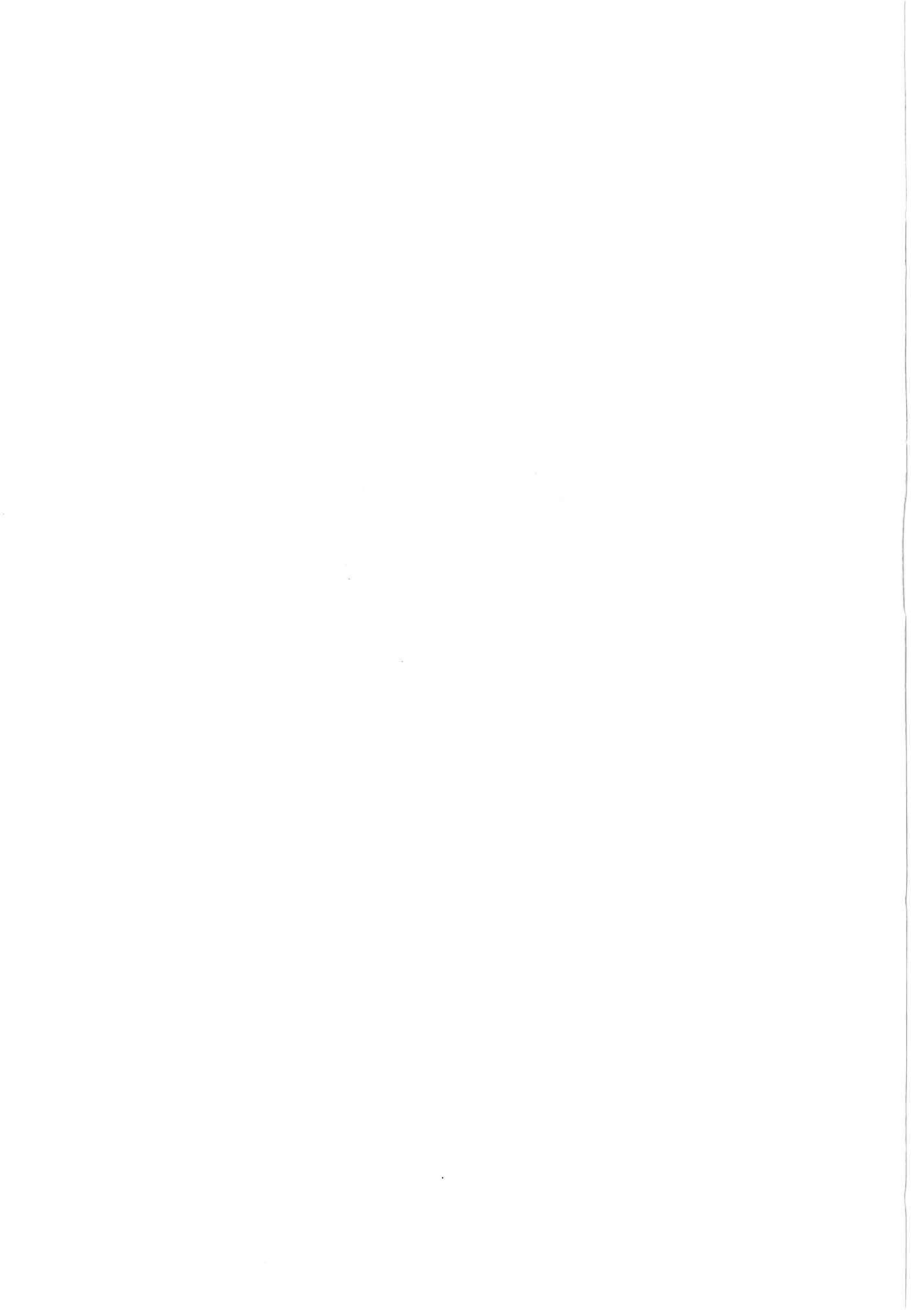


A Catalogue of Books
on
BRITISH BANKING AND CURRENCY

(武蔵大学図書館所蔵)

1 9 9 2



序

武蔵大学経済学部では、本年4月1日より新たに金融学科を設置した。金融学科という名称の学科はわが国最初のものである。ファイナンスが学問として定着しているアメリカではその種の学部、学科は数多くみられるが、わが国では昨年2つの国立大学にファイナンス学科がようやく設立されたにすぎない。これらは、近時飛躍的に拡大しつつある金融の領域を研究対象とするが、その背景には戦後のポートフォリオ理論を始めとする金融経済学の新たな学問的発展がある。武蔵大学における金融学科の創設も、従来の経済学部の伝統にそのようなフロンティアの学問領域を取り入れたもので、今後も重要性を増すと思われる金融の実相に迫り、その理論的・実証的研究を押し進めると共に、そのような能力を持つ人材の養成をねらいとするものである。

この「イギリスの銀行業と通貨」に関するコレクションは、本学が金融学科の創設に当たり、一層の図書充実のために丸善の協力を得て入手したものである。

このコレクションは、通貨・貨幣論、銀行業及び通貨制度等に関する貴重な文献を含むもので、もともとこの分野を専門とするイギリスの古書店二社によりこの道の専門家三氏(Dr. Charles Munn, Prof. Charles Feinstein, Prof. Forrest Capie)の協力の下に5年の年月をかけて蒐集されたものである。このコレクションの特色は、イギリスの銀行の歴史の究明に欠かせない文献を体系的に蒐集したもので、その範囲が広範にわたり、1694年のイングランド銀行の設立から、「地金論争」を頂点とする一連の通貨論争が行われた19世紀の銀行制限時代を経て今世紀中葉にいたるまでの過去300年以上に及ぶことのほか、その内容が基本的標準的な諸著作を広く含むことはもちろんのこと、それ以上にそれぞれの時期の諸著作(多くは初版本)、小冊子、手稿、書簡、政府文書、議会条例などの諸法令等、第一次資料となるべき貴重な文献を多く含むことにある。稀覯書もきわめて多く、ゴールドスミス文庫やクレス文庫中にも見られない珍しいものもかなり含まれている。

全体には1803点から成るが、その内訳は次のように整理されている。(1)銀行業および通貨制度に関する理論集(205点)、(2)イングランド銀行に関するもの(92点)、(3)スコットランド及びアイルランドの銀行業に関するもの(141点)、(4)地方銀行・民間銀行・株式銀行に関するもの(154点)、(5)貯蓄銀行に関するもの(194点)、(6)海外における英国系銀行に関するもの(66点)、(7)銀行業に関する諸法令及び銀行業務に関するもの(679点)、(8)イギリス銀行業の歴史に関するもの(149点)、(9)通貨、貨幣鑄造、銀行券、^ト代用貨幣等に関するもの(123点)。また、刊行年で分けると、17世紀前半までのものは1641年刊行のもの2点、17世紀後半すなわち1650～99年のもの44点、1700～49年のもの

の49点、1750～99年のもの233点、1800～49年のもの426点、1850～99年のもの399点、1900～49年のもの338点、および1950年以降のもの289点(年次不詳のものを除く)となっている。

本コレクションの入手により、武蔵大学図書館における金融関係図書は一層充実することになり、利用価値が高まることになったと考えている。

私達は、この図書の一部を丸善の協力により本年9月下旬に展示して一般に公開すると共に、今後は保管に万全を期し、かつこれらの図書が研究者をはじめとする利用者に開かれたものとしてゆく責務を持つことになる。公開の責務と早期利用者のための便宜から、とりあえず、マニュスクリプト、オートグラフのすべてを含むコレクションの販売目録に、基本的な調査と確認を経て、著者及び書名の索引を付して公表するものである。今回の展示並びに本目録が多くの方々は何程かのお役に立つことを心より願っている。

最後に、このコレクションの購入をお認め頂いた学園当局、及び今回の展示・展示解説並びに索引の作成において多大な御尽力を頂いた武蔵大学名誉教授藤塚知義、経済学部教授吉田暁、同助教授日高千景、並びに図書館職員の方々の責任ある各位や実務を遂行された皆様に心より感謝の意を評する次第である。

1992年9月1日

武蔵大学経済学部長 前田 貞芳